

大会名

全国6人制バレーボール優勝大会

開催地

京都府

試合番号

15

開催日

2018年8月2日

試合設定時刻

10:00

会場名

京都府立太陽が丘体育館

男子 女子

対戦チーム

B

京都Jr

対

大阪Jr

主審がサーブ開始の笛を吹いた時の時刻を書く

点数が入った時で消していく

主審が試合終了の笛を吹いた時の時刻を書く

得点は点数が入ったら必ず / で消していくこと

背番号8の人が1回目のサーブを打つ時レ点のチェックをする

開始 10:15		チーム 大阪Jr (A)					得点	チーム 京都Jr (B)					終了 10:35	得点
レ点	8	4	5	6	7	3	3	1	6	11	2	9	レ点	
サービス	1						5	4					1	
交代	:	:	11:8	:	13:10	:	:	8:11	8:11	:	:	:	:	:
1回目	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2回目	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
3回目	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
4回目	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
タイムアウト	3	4	6	11	13	15	2	7	8	9	11	12	8:11	11:14

1. サービスチーム(大阪Jr)の1番目の選手、背番号(8)がサービスゾーンに行ったら1にレ点のチェックを入れます

2. 主審がサービス開始の笛を吹いた時の時刻を開始のところに書き込みます (10:15)

3. ラリーが終わり主審が手を指した方のチームに点数が入ります。そしたら得点欄の点数を / で消します

4. サーブ権が移動するまで点数を / で消していきサーブ権が相手に移ったらその時の点数をサービスチェックの下に書き込みます(例:大阪Jrチームの1番目の選手背番号(8)がサーブをしている時3点目まで入った)

5. セットの途中でメンバーチェンジした時は、交代する選手の下に背番号を記入し、その時の点数をその下の欄に書く(例:京都Jr.チームが点数8:11の時1と6の選手に代わって5と4の選手と交代した2名交代した例)

6. チームがタイムを取ったら、その時の点数を記入する(タイムを取ったチームの点数を先に書く)(例:1回目のタイムアウトを京都Jrチームが取った時の点数が8点で相手チームが11点の時、タイムアウトの欄に8:11と書く) 2回目の時は下の欄に書く

7. セットが終了したら、最後の点数を記入して / で囲むその時の時刻を終了の欄に書き込み、その3分後の時刻を2セット目の開始の欄に記入する(例:10:35分に1セット目が終了したら、2セット目の開始のところに10:38分と記入) / で消していない点数は X で消す

8. セットが終了し時間に余裕があったら、用紙の右下部の試合結果欄に、チーム名および1セット目の結果記録を記入していく(そのほうが後で集計しやすくなる)

9. 1セットが終了したら両チームから2セット目のスターティングラインアップシートをもらい、2セット目のところに1セット目と同じように番号を書いていく(2セット目の開始に備える)

10. 後は1セット目と同じように記入していく

背番号8の人のサーブが終わった時の点数を書く

相手サーブの時21点目が入ったら次のサービス欄にレ点のチェックなしで21点と書き / で囲む

背番号3の人が2回目のサーブを打つ時2にレ点のチェックをする

背番号6の人のサーブが終わった時の点数を書く

背番号11の人がサーブの時、セットが終わったらその時の点数を書いて / で囲む

1セット目試合終了時刻の3分後を書く

開始 10:38		チーム 京都Jr (B)					得点	チーム 大阪Jr (A)					終了 :	得点
レ点	3	1	5	11	2	9	8	4	5	6	7	3	レ点	
サービス	1						1						1	
交代	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
1回目	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2回目	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
3回目	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
4回目	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
タイムアウト	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5

2セット目のスターティングプレイヤーの番号を書く